

# マグネットすうじ表30

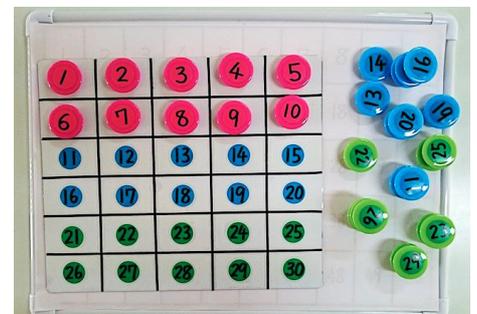
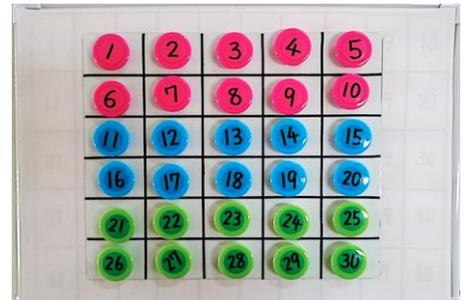
- 【セット内容】
- 1 マグネットすうじ表30 ボード
  - 2 マグネット1～10 (赤) 11～20 (青) 21～30 (緑)
  - 3 タイムきろくシート
  - 4 すうじカード (短期記憶カード)
  - 5 ごほうびシール
  - 6 あなうめかずシート (答えつき)
    - (1) 順唱30 (偶数・2とび)
    - (2) 順唱30 (奇数・2とび)
    - (3) 順唱30まで 1
    - (4) 順唱30まで 2
    - (5) 逆唱30 (偶数)
    - (6) 逆唱30 (奇数)
    - (7) 逆唱30まで 1
    - (8) 逆唱30まで 2
  - 7 かずのごうせいカード①～⑳
  - 8 かずのぶんかいカード①～⑳
  - 9 どっちがおおきいかな?どっちがちいさいかな?カード1 ①～⑱
  - 10 たしざんカード (10まで) ①～㉕
  - 11 ひきざんカード (10まで) ①～㉕

## マグネットすうじ<sup>ひょう</sup>表30<sup>つか</sup>の<sup>かた</sup>使い方

### 【準備】

すうじ表30のボードとマグネットをバラバラに置きます。

- ① 1～10まで、すうじ表の上にマグネットを置いていきます。最初は、ボードの数字とマグネットの数字を見ながら、ゆっくり練習します。バラバラに置いていってもかまいません。数をしっかり合わせましょう。
- ② 「1～10まで」、「1～20まで」、「1～30まで」と少しずつ数を増やしていきます。  
マグネットをおいたら、数唱します。



③30までおけるようになったら、タイムを計ります。まだ計りたくないようでしたら、無理をしないで、何度もおく練習をしてください。

マグネットすうじ表 30 きろくシート 

なまえ レイラー

がつ/にち	タイム	きろく	シール
4/14	5 ぶん 10 びょう	1-1 〇	
	ぶん びょう		
	ぶん びょう		
	ぶん びょう		

④タイムを計ったら、「きろくシート」に記録していきます。

「タイム」欄には時間、「きろく」欄には、すうじカードでの学習を記録します。

⑤「すうじカード30」には

ステップ1-1から5-5までの数字カードがあります。カードに書かれている数字を記憶して、マグネットをとります。(詳しいやり方はカードに記載) 短期記憶の練習カードです。1-1から順番に挑戦します。最初は先生が言ってあげてもいいです。慣れたら自分でやります。



⑥カードに書いてある数字を一度だけ

読みます。裏返しにして、すうじ表からマグネットのコマをとります。

とったら、カードを表にして答え合わせをします。

⑦順唱、逆唱 2とび、5とびなどの数唱の練習もしましょう。

順唱、逆唱などができるようになったら、6 あなうめかずシートに挑戦です。

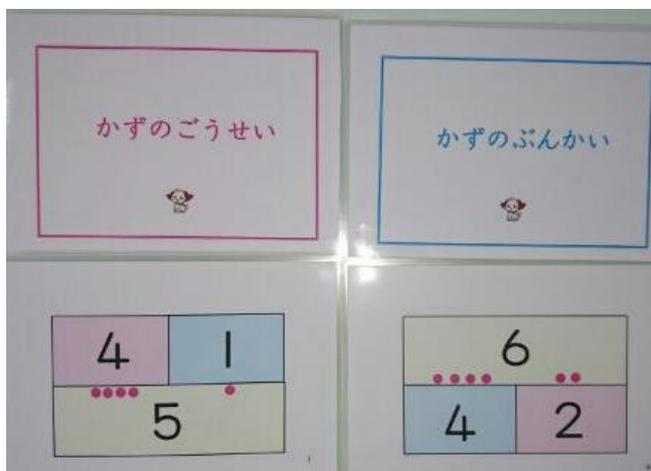
## あなうめかずシート

30のボードの上に、あなうめかずシートを置きます。  
シートの空欄にあてはまる数を考えて、マグネットのコマを置いていきます。  
できたら、答えシートで答え合わせをします。  
奇数、偶数、逆唱の並びが頭の中に整理され、インプットされます。



## かずのごうせい・ぶんかいカード

ドッツと数字をみながら、合成と分解を学習します。  
合成は「4と1で5」分解は「6は4と2」というように練習します。  
言えるようになったら、カードの裏でも練習します。(あなうめ)  
合成と分解の2つのカードを合わせて、10までの数の組み合わせが全部わかるようになります。



## どっちがおおきい？どっちがちいさい？カード

数の大小を、どこを見て判断するかを練習するカードです。

不等号を使って、大小をイメージします。

最初は、親御さんや先生がフラッシュカードで、一緒に学習していきます。

できるようになったら、子ども自身で答えを確認しながら練習します。

赤色の不等号は「大きい」、青色の不等号は「小さい」をイメージしています

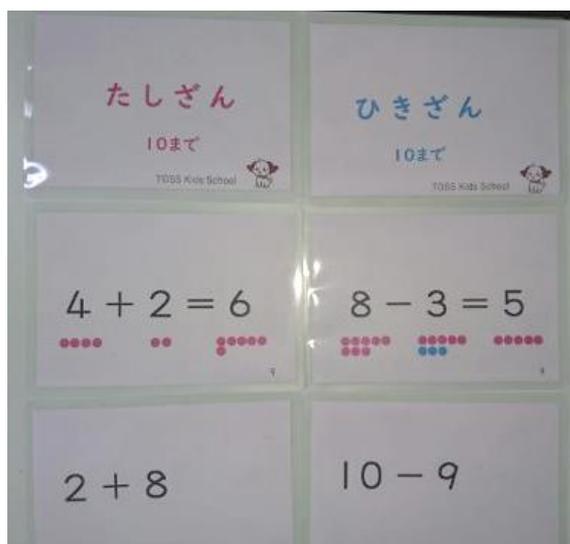


## たしざん・ひきざんカード

10までの数のたしざんとひきざんの練習ができます。

数字の下にドッツがあることで、合成分解をイメージしながら覚えることができます。

赤色のドッツは「たしざん」、青色のドッツは「ひきざん」をイメージしています。



お問合せ

TOSS Kids School

HP: [www.tosskids.com](http://www.tosskids.com)